

【研究費区分】：研究環

【研究代表者所属】：人文科学研究科 人間科学専攻 日本語教育学分野

【研究代表者氏名】：浅川 哲也

【研究代表者氏名フリガナ】：アサカワ テツヤ

【研究代表者職】：教授

【研究分担者（所属,氏名,職）】

- ・ 静岡県立大学・国際関係学部，竹部歩美，准教授
- ・ 埼玉大学・人文社会科学研究科，劉志偉，准教授
- ・ 名古屋大学・国際教育交流センター，グリブ,ディーナ，講師
- ・ 韓国 嶺南大学校，李讓珍，講師
- ・ 中国 江西農業大学・外国語学院，馬雲，講師

【研究環組織名】：首都大学東京言語研究会（東京都立大学言語研究会：2020年4月1日改称）

【研究環課題名】：外国人材育成のための敬語教材の開発と研究

【研究環 HP（\*本研究環組織の HP を作成している場合は，その URL を記入してください。）】

- ・ なし

【研究環の活動概要と，ここで形成された研究グループ・研究拠点の今後の研究活動について】（600～800 字程度で記入。図（組織図含），グラフ等の使用も可。）

- ・ 本研究環は、グローバル社会の時代を迎えた日本社会において、外国人日本語学習者（以下、外国人留学生）が有為な外国人材として日本社会の一員となるために必要とする日本語の運用、特に日本語の敬語運用能力の習得と向上を企図して、適切で新しい敬語学習の教材を開発することに目的をおいた。
- ・ 本研究環は、自身が外国人留学生であった経験のある大学教員と、日本語敬語を研究分野とする研究者とをメンバーとして研究グループを形成している。
- ・ 研究分担者に協力を仰ぎ、研究分担者の外国人留学生としての経験を活かして、外国人留学生のための適切な敬語教育の教材（仮題『外国人のための現代日本語の敬語ハンドブック』）の開発を目指している。
- ・ この目的のため、外国人の研究分担者は、自信の日本語学習歴を内省し、外国人日本語学習者として、日本語敬語の習得においてどのような困難点があったかについて分析を行った。
- ・ また、この目的のため、中国・韓国国内の大学において日本語を学習する学生をインフォーマントとして、日本語敬語に係る印象調査をアンケート形式で実施した。また、比較対象として、日本国内の日本語母語話者の大学生に対しても日本語敬語に係る印象調査をアンケート形式で実施し、この調査結果について分析を

行った。

- ・本研究は、現代の外国人材が日本社会において活躍するために必要な言語ストラテジー能力を習得させるための新しい教材の開発であり、画期的な教育方法論の開発研究であり、現在も研究を継続中である。

#### 【学会発表（発表題目，発表大会名，年月を記入）】

- ・馬雲「現代日本語にあって現代中国語に欠落している字順の逆転する二字漢語「AB-BA」の出自について—国語辞典の初出例の出典の問題—」,日本語学会 2019 年度春季大会（甲南大学）,2019 年 5 月
- ・浅川哲也「国会会議録にみられる〈ら入れ言葉〉の使用実態について」,日本語学会 2019 年度春季大会（甲南大学）,2019 年 5 月

#### 【論文発表又は著書発行（発表題目，著者，発表誌又は出版社，年月を記入）】

- ・国際シンポジウム「外国人材育成と敬語・敬語教育」について,浅川哲也,『言語の研究』第 6 号,2020 年 3 月
- ・外国人材育成における敬語教育の意義とその問題点,浅川哲也,『言語の研究』第 6 号,2020 年 3 月
- ・敬語指南書にみられる敬語解説の問題点,竹部歩美,『言語の研究』第 6 号,2020 年 3 月
- ・敬語学習のどこが学習者にとって難しいのか—学習者自らの振り返りを通して—,劉志偉,『言語の研究』第 6 号,2020 年 3 月
- ・中国語を母語とする日本語学習者に対する敬語教育の問題—中国国内の日本語教科書にある「お／ご」の記述—,馬雲,『言語の研究』第 6 号,2020 年 3 月
- ・韓国の日本語の教科書における敬語の問題について—初級の教科書を対象に—,李讓珍,『言語の研究』第 6 号,2020 年 3 月
- ・ロシアの日本語教科書における敬語の指導に関する—考察,グリブ・ディーナ,『言語の研究』第 6 号,2020 年 3 月

#### 【学術会議開催実績報告】

- \*国際シンポジウム「外国人材育成と敬語・敬語教育」（2019 年 12 月 21 日・首都大学東京 南大沢キャンパス）
    - (1)趣旨説明・外国人材育成における敬語教育の意義とその問題点：浅川 哲也（首都大学東京）
    - (2)敬語指南書にみられる敬語解説の問題点：竹部 歩美（静岡県立大学）
    - (3)敬語学習のどこが学習者にとって難しいのか—学習者自らの振り返りを通して—：劉 志偉（埼玉大学）
    - (4)「お・ご～おき下さい」をどう教えるか：井上 直美（埼玉大学大学院生）
    - (5)中国語を母語とする日本語学習者に対する敬語教育の問題—学習者の立場から—：馬 雲（中国・江西農業大学）
    - (6)韓国の日本語の教科書における敬語の問題について—初級の教科書を対象に—：李 讓珍（韓国・嶺南大学校）
    - (7)ロシアの日本語教科書における待遇表現に関する—考察：グリブ ディーナ（名古屋大学）
    - (8)全体討議・質疑応答
- (※国際学術会議にあたるものには「・」を「\*」にすること。)

#### 【海外研究者の招聘実績】

- ・李讓珍, 韓国 嶺南大学校, 講師
- ・馬雲, 中国 江西農業大学, 講師

**【国際研究環支援や外部研究費等への応募状況】**

- ・なし

**【科学研究費補助金や国等の提案公募型研究費，企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】**

- ・なし

**【受賞等】**

- ・なし

**【その他社会貢献】**

[公的審議会・委員会等の公的貢献，生涯学習支援・普及啓発，国際貢献・国際交流等]

- ・なし

**【研究成果による特許等の工業所有権の出願・取得状況】**

(工業所有権の名称,発明者,権利者,工業所有権の種類・番号,出願年月日,取得年月日)

- ・なし

**【研究分担額】**

(研究代表者・分担者名,所属,金額(円))

- ・ 浅川哲也,首都大学東京,225,967 円
- ・ 竹部歩美,静岡県立大学,115,152 円
- ・ 劉志偉, 埼玉大学,80,172 円
- ・ グリブ・ディーナ,名古屋大学,115,092 円
- ・ 李讓珍, 韓国 嶺南大学校,135,333 円
- ・ 馬雲, 中国 江西農業大学,328,284 円